

内田 康夫 (1934-2018)

東京都北区出身。コピーライター、テレビCM制作会社経営を経て、1980年に『死者の木霊』で作家デビュー。デビュー前より渋谷区幡ヶ谷駅前に住んでいたことから、作中にも渋谷区の各所がたびたび登場する。この幡ヶ谷時代、ミステリーファンの友人から借りていた推理小説のトリックの甘さなどをたびたび指摘し、友人に聞かせていたことが、自分で小説を書き始めるきっかけとなった。その後、テレビドラマとしても人気を集めた「浅見光彦」シリーズを筆頭に、数多のミステリー作品を世に送り出した。

参考文献：『特別展 ミステリー作家内田康夫と渋谷』
白根記念渋谷区郷土博物館・文学館 2016



『風の盆幻想』

内田 康夫／著
実業之日本社(実業之日本社文庫) 2013

幽玄な唄と踊りで有名な富山県八尾の風の盆祭り。その本番8日前、老舗旅館の若旦那が変死体で見つかった。自殺で片付けようとする若旦那と警察に疑問を感じた浅見光彦と内田康夫は独自の調査に乗り出す。

『名探偵浅見光彦の 食いしん坊紀行』

内田 康夫／著
実業之日本社(実業之日本社文庫) 2010

軽井沢のセンセこと内田康夫と名探偵・浅見光彦が、日本各地を食べ歩き、その珍道中をかわるがわるにリポートする。グルメ情報こそ古いものになってしまうが、ご満悦な「センセ」の写真とコミカルなエッセイはいつ読んでも楽しめる。



「渋谷読書人」は

渋谷に関わる人全てに向け、
おすすめ本の情報を発信して
いく、渋谷区立図書館が発行
する定期刊行物です。

渋谷読書人 2022年2月・3月号

発行 / 編集 渋谷区立図書館
株式会社図書館流通センター
発行日 2022年2月

渋谷区立中央図書館
電話 3403-2591
住所 渋谷区神宮前1-4-1



富士山を愛でる

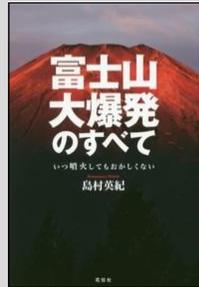
2月23日は富士山の日。
日本一の山をいろんな角度から
眺めてみませんか。



『山麓から登る 世界文化遺産富士山』

佐々木 亨／著 山と溪谷社 2014

富士山の一般登山コースを無雪期に歩くためのガイドブック。富士山の主要登山道を、著者による綿密な実踏取材にもとづき解説する。世界文化遺産としてふさわしい価値を有する天然記念物や史跡なども紹介。



『富士山大爆発のすべて』

島村 英紀／著
花伝社 共栄書房(発売) 2016

火山灰が1ミリ積もただけで甚大な被害をもたらす噴火。しかし今の科学力ではいどこで噴火が起きるのか予知できない。第一線で活躍する地球物理学者が、過去の記録や海外の事例などから富士山の噴火について考える。



『富士山』

田口 ランディ／著 文藝春秋(文春文庫) 2006

いまを生きる若者にとって、富士山はどんな山に見えるのだろうか？ 中学卒業記念に自殺の名所を冒険する「樹海」、富士山のみもとで集め続けたごみの要塞に住む老女の話「ジャミラ」など、富士山にまつわる四編の話を収録した小説集。



『富嶽百景』 『富嶽百景 走れメロス 他8篇』より

太宰 治／著
岩波書店(岩波文庫) 1988

太宰治が、富士山のそばの天下茶屋で執筆活動をしていた頃の何気ない日々を綴る。場所だけでなく、季節や時間帯、そのときの心持ちによって、富士山の見え方がさまざまに変化する“百景”が個性的に描写される。作者の富士山への親しみが感じられる一編。



『多肉植物スタートBOOK』

黒田 健太郎／著 家の光協会 2021

多肉植物を初めて育てる人のために、フローラ黒田園芸が「見た目がよく」「育てやすく」「手に入りやすい」20品種を厳選。各品種の特徴や育て方に加え、寄せ植えなどの飾り方も紹介する。多肉植物カタログ264点も収録。



『町田忍の銭湯パラダイス』

町田 忍／著 山と溪谷社 2021

銭湯研究の第一人者・町田忍が、東京を中心に全国の個性的な銭湯をオールカラーで大公開。江戸の銭湯事情をのぞき見できるジオラマやペンキ絵などの銭湯にまつわるさまざまなうんちくも掲載する。銭湯好きはもちろん、銭湯に行ったことのない人も楽しめる、充実の一冊。



『世界のサラダ図鑑』

佐藤 政人／著 誠文堂新光社 2021

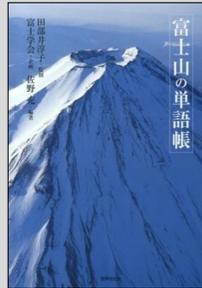
世界には日本人の知らないサラダが数多く存在する。日本ではあまりなじみのない野菜や思わずなめてみたくなるドレッシング、意外な食材を組み合わせた驚きのサラダなど、全304品をレシピ付きで紹介。



『テレビドラマの間取り』

立東舎／編 荒川 淳彦／監修
立東舎 リットーミュージック(発売) 2021

多くのドラマで空間美術を担当してきたセットデザイナー・荒川淳彦が、これまでに手掛けた印象深い間取りを4つのパートに分けて紹介。架空の空間はどのように作られ、どのような効果を生んだのか？ 図や写真とともに語っていく。



『富士山の単語帳』

佐野 充／編著 田部井 淳子／監修
富士学会／企画 世界文化社 2013

裏後光、草紅葉、御来光、太鼓石、夏の夜のかがり火…。風景、生物、天候から描かれた絵画・文学にいたるまで、富士山にまつわる豊かな言葉を美しい写真とともに紹介。富士山を広く知るのに最適な一冊。



『光琳、富士を描く!』

小林 忠／著 小学館 2021

2020年に日本で初めて公開された「富士三壺図屏風」。富士を描いた右隻と、三つの小島を描いた左隻の対比を、江戸絵画研究の第一人者が原寸大の絵とともに解説。幻の名作に秘められた謎と尾形光琳の意図にも迫る。



『富士山1周レースができるまで』

鍋木 毅／著 福田 六花／著
山と溪谷社 2015

山道を走るスポーツ、トレイルランニング。中でも、富士山1周・約168キロを二昼夜かけて駆け抜ける「ウルトラトレイル・マウントフジ」は、2012年に誕生した日本最大級のレース。トップトレイルランナーの実行委員たちがみずから明かす、初開催までの道のりとは。